

# 総合労働協約改訂等 団体交渉スタート!

「生き生きと働ける職場づくり」に向けて主旨説明を行う!

パートナ―社員(事務職等、駅勤務者(事務))の  
基本賃金1,650円改善!

【申第2号に関わる  
主な要求項目(鉄道)】

- ◆労働時間短縮
- ◆年間休日増
- ◆在宅勤務制度の制度化、フレックスタイム制度の導入
- ◆育児短時間勤務適用条件の緩和
- ◆採用時の年次有給休暇付与日数増
- ◆時間休(年休)制度の新設
- ◆保存休暇の累積限度日数増、適用範囲拡大
- ◆(SAS)に関わる検査・診察、治療等にかかる必要日数増
- ◆改正育児・介護休業法に対応した制度の新設
- ◆技能、職務手当の新設及び増額並びに支払い基準の拡大
- ◆育児・介護休業取得時の昇給資格条項撤廃
- ◆被服類のスボン・スカート選択制導入、空調服貸与対象者拡大
- ◆制服損耗時の交換対応の円滑化
- ◆健康増進に関する福利厚生制度の充実、治療と仕事の両立支援制度、構築
- ◆準組合員(エキスパート社員)への期末一時金の係数(0.4)撤廃

本部は、8月26日に1回目の「総合労働協約改訂等」交渉を行い、要求の主旨説明を行った。

＜要求の主旨を説明＞  
要求内容は、各支部から集約した総合労働協約改訂の要求項目及び7月9日に開催した第40回定期大会における代議員からの発言を反映して102項目にとりまとめ、8月12日に申第1号で会社に申し入れたものである。

交渉で「コロナ禍で会社の経営状態は危機的状況にあるものの、各職場の組員は安全・安定輸送を第一義に、コロナに、大雨に、猛暑にも耐え、公共交通機関に働く者としての責任感と使命感を持って、日々全力で業務に取り組んでいる。会社が『JR四国グループ長期経営ビジョン2030・中期経営計画2025』で示した将来のありたい姿を実現するために、生き生きと働ける職場環境づくりが必要不可欠で



交渉に臨む団体交渉委員8名

組合の主張に対して会社は「コロナ禍により経営が悪化している上に、先行き不透明な状況であるが、会社の体力、貴側の要求を踏まえ、今後鋭意検討していく」との考え方を示した。

＜基本賃金改善の回答＞  
引き続き会社側より、申第2号及び申第3号で

JR四国労働組合ホームページ  
をご存知ですか?  
JR四国労働組合新聞や各種ニュースなどをパソコン・スマートフォンで閲覧できます!  
※組合員専用ページの閲覧にはパスワードが必要です。

http://jrсу.jrsis.com/

QRコードでアクセス!!



申し入れた準組合員(エキスパート社員及び契約社員)の賃金引き上げに  
関し、「エキスパート社員の基本賃金については、世間の動向や会社の経営状況を勘案した結果、今年度の改定は行わないこととする。契約社員の基本賃金については、パートナ―社員(月給適用者)の基本賃金の改定を行う」との回答が出された。

これに対し組合側は、「これまで一貫して準組合員(エキスパート社員、契約社員)の賃金改善を求めてきた。パートナ―社員のうち、『事務職等』及び『駅勤務者(事務)』について基本賃金の改善が図られたことは評価する。該当職種以外の賃金引き上げについては、『今年度の改定は行わない』との回答であったが、鉄道事業の運営には必要不可欠な『人財』であり、一朝一夕に育成できるものでないことを考えれば、『人財』確保のために改善を図るべきである。単に他との比較だけでなく、業務量や社内における必要性を踏まえ、その働きの価値に見合った水準に引き上げるべきと考える」と訴え前向きな検討を要請した。

【経団連報告】  
①2021年度「総合労働協約改訂」の取り組みについて  
②JR四国硬式野球部への物品の差し入れについて  
③当面するスケジュールについて  
④その他

## ジェイアール四国バス 団体交渉スタート!!

ジェイアール四国バスの総合労働協約改訂等について、8月12日に申第4号及び申第5号で会社に申し入れ、9月3日の第1回交渉において組合の要求実現に向けて主旨説明を行い、前向きな回答を強く要請し議論した。

＜環境整備を強く要請＞  
交渉で組合は「コロナ禍による影響が1年半以上続く中、収入が大幅に減退する一方、雇用調整助成金を活用した待命休職を伴う経費削減には労使を挙げ取り組んでいくべきである。この難局を労使で乗り越え、反転攻勢を期すべく、組合員の将来不安を和らげ、安心して意欲的に働くことのできる環境整備を強く要請する」と訴えた。

8月7日(土) 13時30分より、サンポートホーム高松にて第2回本部執行委員会が開催された。

冒頭の挨拶で大谷執行委員長は「感染症対策として広い会場での開催とした。ワクチン接種が加速し、職域接種も始まっているが、未だ感染症の収束は見通せない。引き続き対策を徹底させたい。定期大会等での意見も包含し、総合労働協約改訂等の申し入れ案を取り纏めた。団体交渉も間近に迫っている。交渉内容や経過の周知をお願いするため、組合員に求めるだけでなく、執行部から盛り上げていこう。」と述べた。その後、特別執行委員の指定を行い、議事に入った。

【経過報告】  
①2021年度「総合労働協約改訂」の取り組みについて  
②JR四国硬式野球部への物品の差し入れについて  
③当面するスケジュールについて  
④その他

の交渉終了後、「労働時間の見直し」及び「ドリム号乗務における賃金手当の見直し」について会社より提案があり、「社員登用試験の受験資格の特例扱い」について説明を受けた。

＜粘り強い交渉を継続＞  
組合は持ち帰り業務対策委員会を開催し、「諸制度の改善」及び「準組合員の賃金引き上げ」について、引き続き粘り強く交渉を継続していくことを確認するとともに、今回新たに提案があった内容についても、引き続き協議することとした。

## 第2回本部執行委員会開催

- ・第29回定期委員会(支部大会)
- ・香川支部第35回定期大会
- ・調査(調査)
- ・交連労協「悪質クレーム(迷惑行為)アンケート」調査の提出状況(政策)
- ・第49回衆議院議員総選挙にむけた対応について
- ・(Jr連合)
- ・組織財政検討委員会
- ・Jr連合ビジョン推進委員会
- ・30周年事業企画委員会
- ・自動車連絡会幹事会
- ・安全対策委員会
- ・労働政策委員会
- ・組織担当者会議
- ・【議事】

各支部大会日程及び本部対応について  
分會大会の開催日程について  
業務用携帯電話の導入について  
専従体制に関する補足次期(第3回)執行委員会の開催について  
その他



広い会場を使用するなど、三密を防いで本部執行委員会を開催

## 契約社員乗車22名 全員加入を達成!!

JR四国労働組合は、8月1日に入社した契約社員乗車新規採用者全員の加入を達成。22名のフレキシブルな仲間が加わった。関係支部・分會・青年女性会議の各役員においては、研修終了後各職場に配属となる新入組合員の歓迎やフォローについて協力を要請する。

# 支部定期大会開催!

各支部定期大会は香川支部を皮切りに順次開催された。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大とこれに伴うまん延防止等重点措置実施の影響で、各支部はそれぞれ感染対策としてWeb併用や規模の縮小、書面開催への切り替えなどを実施しながら支部大会を適切に運営した。

各大会冒頭で挨拶に立った各支部委員長は、コロナ禍の中で日々業務に全力で取り組む組合員の労をねぎらうとともに、安全・安定輸送の取り組みや組織の充実・強化、労働環境改善、政治・政策活動への取り組みなどについて所信を述べた。また、執行部が提げた向こう一年間の活動方針等について、代議員から方針等を補強する発言が出された。なお、一部の支部では質疑を事前集約し書面での回答も行った。活動方針等は満場一致で承認され、支部委員長による団結ガンバローで大会を締めくくった。

香川支部宛に国民民主党玉木代表よりビデオメッセージ



各大会の開催日及び役員改選で選出された新役員は次のとおり

## 香川支部

8月1日(日)  
執行委員長 杉本 慶太  
副執行委員長 十川 孝志  
書記長 村田 和優  
書記次長 曾川 賢二  
森重麻理奈



## 愛媛支部

9月6日(月)  
執行委員長 山本 鉄平  
副執行委員長 野中 研吾  
書記長 津野 一彦  
書記次長 島崎 隼途  
山田 裕喜



## 徳島支部

9月7日(火)  
執行委員長 井内 貴志  
副執行委員長 平岡 広考  
書記長 西口 智也  
書記次長 下野 桂馬  
笹岡 慎平  
永正 智也



## 高知支部

8月29日(日)  
執行委員長 河野 憲司  
副執行委員長 濱口 翼  
書記長 今村 健一  
書記次長 宮地 信光  
山本 真二



## 本社支部

8月27日(金)  
執行委員長 寶田 晃  
副執行委員長 筒井 麻衣  
書記長 神野 博之  
書記次長 松浦 誠  
中内 庄平  
章浩



## 自動車支部

9月9日(木)  
執行委員長 上田 耕成  
副執行委員長 竹崎 教幸  
書記長 岩本 敏幸  
書記次長 河野 鎮朗



## 教育・広報委員会

## サークル協議会運営委員会開催

8月17日(火) 15時30分より、本部1階会議室において「教育・広報委員会」を感染症拡大防止のためWeb併用で開催した。議事では、経過報告の後、今年度の取り組みが提起された。教育活動については、①次世代を担うリーダーの発掘・育成、②各級機関組合員への実践教育の推進、③JR四国労組運動の実践と継承、を重点テーマとして教育活動に取り組みることとした。具体的には、ユニオンスクールの充実及び、支部・分会における教育活動の活性化に向けて本部のバックアップ体制を強化することとした。

8月17日(火) 15時30分より、本部1階会議室において「教育・広報委員会」を感染症拡大防止のためWeb併用で開催した。議事では、経過報告の後、今年度の取り組みが提起された。教育活動については、①次世代を担うリーダーの発掘・育成、②各級機関組合員への実践教育の推進、③JR四国労組運動の実践と継承、を重点テーマとして教育活動に取り組みることとした。具体的には、ユニオンスクールの充実及び、支部・分会における教育活動の活性化に向けて本部のバックアップ体制を強化することとした。

## 四国交運労協鉄軌道部会が 四国運輸局への要請行動を実施

要請書を手交する中村鉄軌道部会長代行(右)



四国地方交通運輸産業労働組合協議会(四国交運労協)の鉄軌道部会(右)は、7月28日(水)13時30分

から、サンポート高松合同庁舎にて四国運輸局への要請行動を行った。冒頭、中村鉄軌道部会長代行は「コロナ禍で事業者は苦境に立たされている。テレワークの定着等でも不安視される状況下において、交通インフラの維持は労使の取り組みだけでは厳しい。鉄軌道事業に専事する組合員を、交運労協では「キーワーカー」と呼んでいるが、まさに生活のカギであり、地域の足である鉄軌道を守るためには、行政からの支援が必要である」と述べ、要請の主旨を説明した。これに対し、四国運輸局高嶋鉄道部長

が回答後、質疑を行い、支援の拡充が必要な現状を訴えた。要請内容は次のとおり。

- ① 新型コロナウイルス感染症への対応について
- ② 交通政策基本計画に基づく総合交通政策の実現について
- ③ 地方鉄道における課題について
- ④ 四国新幹線の導入について
- ⑤ 災害対策・老朽化対策について
- ⑥ 安全に関する事項について
- ⑦ 高齢化・グローバル化への対応と様々なニーズ・社会的要請について

## 部会三役会議開催



9月1日(水)15時30分より、本部1階会議室において「部会三役会議」を、感染症拡大防止対策としてWeb併用で開催した。

議事では、昨年度の活動の振り返り、今年度の取り組みについて議論し、営業・運輸・工務・事業開発の各部会が自主的に活動し、安全最優先の職場風土を構築することを確認した。あわせて、職場の専門的課題を答申書に取りまとめ、経営協議会等を通じて会社施策に反映させることを確認するとともに、先月の大雨対応における課題などの活発な意見交換が図られた。

ユニオンスクール「フレッシュマンコース」開催!

- ・1回目 10月16日(土) 11:00~16:45 サンポート高松 54会議室
- ・2回目 10月19日(火) 11:00~16:45 高松商工会議所 501会議室
- ・対象者: 入社5年以内 (2017年から2021年入社)の組合員

※詳しくはJR四国労組発第20号を参照。希望者は所属分会長に申込書を提出してください。

JR連合賃金実態調査を実施

みなさんのご協力をお願いします!

- ① 対象者: 全組合員 ※ 出向以外の休職者・準組合員を除く
- ② 対象賃金: 2021年9月分の月例賃金 ※ 9月24日支給分の給与明細書による
- ③ 集約日: 10月5日(火) 本部必着!!

ろうきん財形貯蓄 積立額の変更を受付中!

受付期間: 10月1日~10月11日

~手続きの流れ~  
変更申込書をろうきんより入手! その場で記入いただき、提出完了!  
※財形貯蓄の届出印を押印いただきますのでご用意ください。

金額変更ご希望の方は、ろうきんへご連絡ください。  
受付期間より早めのご連絡でも大丈夫です。  
年に1度のチャンス! 逃さないでください!